

兵庫県立大学大学院社会科学研究科

Graduate School of Social Sciences, University of Hyogo

経済学専攻

Department of Economics



兵庫県立大学
UNIVERSITY OF HYOGO

ごあいさつ — 経済学専攻の特徴

本学社会科学研究科の経済学専攻は、50年以上の歴史を有する経済学研究科の流れを汲み、その前身を含め、多数の優秀な経済学者を輩出してきた歴史と伝統を誇っています。勿論、研究者養成のみならず専門性が問われる現代社会で活躍できる人材の育成も行っています。そして神戸商大以来の少人数教育の伝統は本専攻にも通底しております。多くの教育熱心な教員が在籍しており、望めば徹底的に議論に付き合ってくれるでしょう。大人数で競争させる昨今の大規模な大学院とはまた別の、じっくりと学問に取り組む事ができる魅力もあると私は思っております。留学生に加えて最近では退職後のシニアの方の在籍も増え、多様な学生が集って来ております。国際商経学部を3年で早期卒業したあと本専攻の前期課程2年を修了することにより5年で修士号を取得できる制度の拡充等、我々教員側も学び方の多様性に常に対応し続けております。

そもそも経済学とはどのような学問なのでしょう。経済学は幅広い対象に対し共通の“言語”として建設的な議論を可能とする一方で、近年は専門の深化による分断も指摘される事も増えました。しかしこの挨拶文を書く為に昨年のパンフレットに目を通したところ、前専攻長が「すべて幸福の実現をその目的としていることが分かるでしょう」と喝破しておりまして、それはまさに私が漠然と経済学の役割と考えていたもので、根底にある経済学を学ぶ一本の筋のようなものを感じた次第です。本専攻のアカデミックな雰囲気にも包まれながら、自分なりの経済学を構築し人々の幸福を増進していく作業に没頭するのは刺激的な営みになると思いませんか？ 皆さんと議論の出来る日を楽しみにお待ちしております。

経済学専攻長

桑原史郎

経済学専攻の教育の特色

経済学専攻の博士前期課程においては、経済学とその関連分野における研究能力又は高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を身につけることを可能にするために、2年間の在学期間で30単位以上の修得を修了要件とし、加えて、コースワークでは「共通科目」及び「主専攻科目」の区分ごとに、必要な単位数の修得を義務づけるとともに、研究指導では「研究演習科目」により一貫した指導を行います。また英語プログラムの開設により、英語による教育も開始します。

博士後期課程においては、経済学について研究者として自立して研究活動を行うことができる、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な研究能力を身につけることを可能にするために、3年間の在学期間で20単位以上の修得を修了要件とし、加えて、コースワークでは「専攻科目」及び「教育実践科目」の区分ごとに、必要な単位数の修得を義務づけるとともに、研究指導では「研究演習科目」により一貫した指導を行います。

育成する人材像と教育研究上の目的

	博士前期課程	博士後期課程
育成する人材像	経済学とその関連分野における研究能力又は高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を有する人材	経済学について研究者として自立して研究活動を行うことができる、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な研究能力を有する人材
教育研究上の目的	経済学とその関連分野の専門知識と技能を修得した上で、学術的に意義のある課題を発見し、理論的枠組みを用いて論理的に分析する能力を有し、修得した専門知識と技能を社会に還元できる人材を養成することを目的とする。	経済学の体系的な専門知識と高度な技能を修得した上で、学術的に意義があり、かつ新規性のある課題を発見し、新しい理論的枠組みを用いて論理的に分析する能力を有し、修得した専門知識と技能を社会に還元できる人材を養成することを目的とする。

開講科目

博士前期課程

共通科目		主専攻科目		
ミクロ経済学研究基礎	量的研究方法論	ミクロ経済学研究	労働経済学研究	地域経済学研究
マクロ経済学研究基礎	質的研究方法論	マクロ経済学研究	社会保障論研究	交通経済学研究
計量経済学研究基礎	フィールドワーク方法論	計量経済学研究	経済史研究	経済地理学研究
国際経済学研究基礎		国際経済学研究	経済学史研究	行動経済学研究
経済数学研究基礎		金融論研究	開発経済学研究	
情報科学研究基礎		財政学研究	環境経済学研究	

※これらの他に研究演習科目が開講される。

博士後期課程

専攻科目		
ミクロ経済学特殊研究	金融論特殊研究	経済発展論特殊研究
マクロ経済学特殊研究	財政学特殊研究	環境経済学特殊研究
計量経済学特殊研究	労働経済学特殊研究	地域経済学特殊研究
国際経済学特殊研究	社会保障論特殊研究	

※これらの他に、授業設計実習および研究演習科目が開講される。

修了後の進路

大学教員、公的研究機関・民間シンクタンク・国際機関等の研究者、企業その他の組織の経営を担う中核的人材等

大学院の学びで心に残っているのはフィールドワーク調査です。所属ゼミでは、環境問題を抱える実際の現場に何度も足を運び、問題に直面する当事者の方々から話を伺い、議論を重ねる、そして現場で得た知見を研究室に持ち帰ってゼミ仲間と議論を深めていく姿勢を努めていました。この経験から多様な人々の視点に立って考える習慣を身につけられたことは、現在の仕事にも役立っています。大学院では研究に携わる多くの人々に出会い、様々なことに挑戦できたことは、生涯にわたりかけがえのないものになりました。ぜひ県大で様々なことに挑戦して、新しい世界を自分の手で切り拓いてください。



川添 拓也
2018年3月修了
現在
株式会社NTTデータ関西
金融事業部

私は学部時代から大学院修了までの9年間を、県立大で過ごしました。学部2年の時に英語で受講したマクロ経済学の講義に感銘を受け、さらに深く経済学について学びたく、本研究科へ進学しました。県立大の院教育の魅力は、何といたっても「教員との距離の近さ」にあります。院生時代、講義は勿論のこと、研究室で夜遅くまで先生方と経済学談議に耽り、そこで「教科書に載っていないこと」も、数多く学びました。今客観的に振り返ると、こうした先生方の叱咤激励のお蔭で、研究者としての素養を、自然と身に付けられたのだと感じています。「少人数教育」という言葉では語り尽くせない魅力を、是非本研究科で味わって下さい。



坪井 美都紀
2020年3月修了
現在
和光大学
経済経営学部専任講師

担当教員一覧

演習担当教員・専任教員一覧

担当教員	演習担当		担当科目（演習を除く）	専攻科目（専攻分野・研究テーマ）
	博士前期	博士後期		
石黒 靖子 教授	○	○	国際経済学研究基礎、研究倫理 国際経済学特殊研究、授業設計実習	国際経済学、経済統合と経済成長の理論及び実証分析
伊藤 国彦 教授	○	○	金融論特殊研究	金融論、国際金融論、金融と実体経済の相互依存
大住 康之 教授	○	○	マクロ経済学研究、マクロ経済学特殊研究、授業設計実習	マクロ経済学：経済成長と技術進歩及び分配に関する理論的研究
菅 万理 教授	○	○	社会保障論研究、社会保障論特殊研究	医療経済学：社会保障政策の計量分析
車井 浩子 教授	○	○	計量経済学研究、計量経済学特殊研究	回帰モデルの分析手法に関する理論的研究
桑原 史郎 教授	○	○	マクロ経済学研究基礎	経済成長理論、動学分析
兒山 真也 教授	○	○	交通経済学研究 地域経済学特殊研究	交通経済学
友野 哲彦 教授	○	○	地域経済学研究、地域経済学特殊研究 授業設計実習	地域経済と環境に関する理論および実証分析
中川 訓範 教授	○	○	ミクロ経済学研究基礎、ミクロ経済学研究、ミクロ経済学特殊研究	企業間の空間的競争の研究
西中 恒和 教授			経済数学研究基礎	無限群の群多元環の原始性及び半原始性
西山 博幸 教授	○	○	国際経済学研究、国際経済学特殊研究	国際経済学、国際貿易・FDIの研究
三上 和彦 教授	○	○		企業形態（企業の経営形態）の比較研究
横山 由紀子 教授	○	○	労働経済学研究、労働経済学特殊研究	労働市場と社会保障制度に関する経済学的研究
吉田 康志 教授	○	○	金融論研究	銀行業務、決済システム
磯貝 茂樹 准教授				ミクロ経済学、ゲーム理論
松山 直樹 准教授	○		経済学史研究	経済学史、経済学方法論
和田 真理子 准教授	○		経済地理学研究	都市経済地理学、都市構造論、大都市衰退地区の再生
大澤 篤 講師			経済史研究	経済史、経営史

（2024年度の予定。最新の状況はウェブサイトでご確認ください）

兼任教員

担当教員	担当科目	担当教員	担当科目
秋山 秀一 教授	質的研究方法論	藤江 哲也 教授	情報科学研究基礎
川嶋 宏彰 教授	情報科学研究基礎	大島 裕明 准教授	情報科学研究基礎
小宮 一高 教授	質的研究方法論	上瀬 昭司 准教授	質的研究方法論
當間 克雄 教授	質的研究方法論	中村 友哉 准教授	質的研究方法論
山口 隆英 教授	質的研究方法論	森谷 義哉 准教授	量的研究方法論
宮崎 修一 教授	情報科学研究基礎	内平 隆之 教授	フィールドワーク方法論

人々が幸福に生きていける社会を実現する経済学に触れてみませんか？

よく「経済学はどのようなことに役立つのでしょうか？」という質問をされます。その質問が「お金もうけの役に立ちますか」という意味であれば、私は「違うよ」とお答えします。経済学を教える立場にある者なら、みな同じ返答をされると思います。そもそも経済学とは何者なのでしょう。最小限の費用で人々の豊かさを効率的に実現する方法を追求する学問だという意見もあるでしょうし、世をおさめ民を苦みから救う（経世（国）済民）ことが経済学の本質だと考える方もおられるでしょう。はたまた「οικονομία（オイコノミア）」をもちだして、よりよい状況をつくりだすための方法を模索する学問だという考え方もあります。これらは一見バラバラな主張に見えますが、一步引いて俯瞰すれば、どの意見も人々の幸福の実現をその目的としていることが分かります。経済学の「目的」はあくまで人々が永続的に幸福に生きていける社会を実現することであり、お金もうけはその「手段」に過ぎないのです。私が専門としている「国際経済学」も、その目的は同じです。各国経済のつながりについて研究する国際経済学では、貿易自由化や企業の多国籍化、各国経済政策の波及効果など様々な問題について考えますが、その目的は常に「世界

中の人々の幸福の実現」にあるのです。

しかし残念なことに、この一番大切なポイントが多くの人々に（経済学を学ぶ学生にすら）十分伝わっていないように思います。とくに高度化・専門分化された講義では、こうした大前提が語られないまま各領域の議論が展開されがちです。その点、本研究科経済学専攻には様々な分野のエキスパートが揃っており、幅広い研究領域をカバーした網羅的なカリキュラムも準備されています。また、学生数に比して多数の教育熱心な教員が在籍していることも大きな魅力です。面倒臭い先生方のもとで経済学の本質から最先端の専門知識まで学ぶことのできる非常に恵まれた環境が、本専攻には整備されています。本学大学院は（その前身も含め）多数の優秀な経済学者を輩出してきた歴史と伝統を誇っています。このアカデミックな雰囲気にもまれながら、みなさんも本気で経済学を学んでみませんか。



経済学専攻担当教員・教授
西山 博幸（専門分野：国際経済学）

現代社会が直面する経済問題を、過去、現在、未来という時間軸との関連で学んでみませんか？

経済学は、貧困や格差の解消に向けていかなる議論を提示できるのでしょうか。また、経済学者たちは、経済現象をいかにして客観的に認識しようとしているのでしょうか。このような問題関心から、私は経済学の理論や方法論について歴史的に研究をしています。そのため、学生のみならず様々な学者の学説や思想等をめぐって議論することが多いのですが、その際には原典に立ち返って理解を深めていく姿勢を大切にしています。幸運なことに、本学の図書館（神戸商科 学術情報館）には、貴重書を収めた『瀧川文庫』*が設置されていますので、イギリスを中心とする過去の社会経済思想家たちの原書に直に触れることができます。リプリント版の書籍では感じることもない重厚さに圧倒されますが、そのような素晴らしい環境で研究活動を行うことができることは、本学大学院で学ぶことの大きなメリットのひとつではないと考えています。

アダム・スミスが経済学の体系的な議論を示して以来、経済学は、理論分析、歴史分析、政策分析を三位一体として展開してきました。さらにJ.M.ケインズは、経済学者は「将来の目的のために、過去に照らして現在を研究

しなければならない]し、「ある程度、数学者であり、歴史家であり、政治家であり、哲学者でなければならない」と述べています（『ケインズ全集』第10巻、173-174／訳233）。このケインズの言葉が、需給均衡理論の考案者アルフレッド・マーシャルの追悼論文において記されたことも踏まえるならば、なかなか意義深い指摘ではないでしょうか。経済学を幅広く学ぶことを通じて、現代社会が直面する各種の経済問題を、過去、現在、未来という時間軸との関連において多角的に捉え、専門的に分析できる能力を培いたいものです。



*『瀧川文庫』は、「ペティ=ダヴナント著作コレクション」、「イギリス社会思想コレクション」、「サー・ジョン・ヒックス旧蔵書および文庫コレクション」から構成され、卒業生の瀧川博司さんが寄贈されたものです。

経済学専攻担当教員・准教授
松山 直樹（専門分野：経済学史）

学生の受入方針

博士前期課程	経済学とその関連分野における研究能力又は高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を有する人材を目指す者を受け入れるため、この分野において学士課程で修得されるべき専門知識と技能を身につけており、研究を論理的に進めることができる思考力及び語学力を有し、かつ、修得した専門知識と技能を社会に還元しようという意欲を持つ者を選抜するべく入学試験を実施する。
博士後期課程	経済学の体系的な専門知識と高度な技能を修得し、経済学について研究者として自立して研究活動を行うことができる、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な研究能力を有する人材を目指す者を受け入れるため、この分野において博士前期課程で修得されるべき専門知識と技能を身につけており、研究倫理を遵守し、研究成果を世界に発信できる語学力を有し、かつ、修得した専門知識と技能を社会に還元しようという意欲を持つ者を選抜するべく入学試験を実施する。

募集要項 (概要)

募集人数

課程の種類	入学定員
博士前期課程	12名
博士後期課程	5名

学 費

入学科 (入学時)	兵庫県内在住者・内部進学者・留学生特別選抜	282,000円
	その他	423,000円
授業料 (年額)	全員	535,800円

- (1) 現行の入学科等は次のとおりです。なお、改定されたときは、その金額によります。(2024年4月1日現在)
 (2) 兵庫県の施策である県立大学の授業料等無償化の対象となるときは、入学科と授業料の全額が免除されます。ただし、一定の要件を満たす場合に限りです。

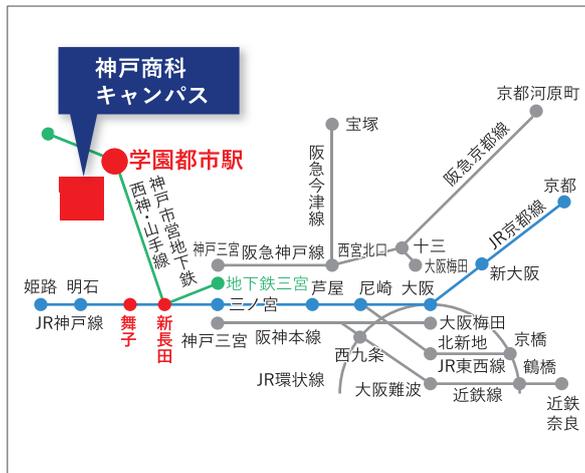
2025年度入試日程

博士前期課程

入 試 種 別	出 願 期 間	入 試 日
推薦選抜 (日本語プログラム推薦、英語プログラム推薦) (7月)	2024年6月12日 (水) ~ 6月19日 (水)	2024年7月 6日 (土)
一般選抜 (8月)・外国人留学生特別選抜 (8月)	2024年7月31日 (水) ~ 8月 7日 (水)	2024年8月24日 (土)
推薦選抜 (日本語プログラム推薦、英語プログラム推薦) (2月)・ 一般選抜 (2月)・外国人留学生特別選抜 (2月)	2025年1月22日 (水) ~ 1月29日 (水)	2025年2月15日 (土)

博士後期課程

入 試 種 別	出 願 期 間	入 試 日
推薦選抜 (専攻内推薦)・一般選抜・外国人留学生特別選抜	2025年1月22日 (水) ~ 1月29日 (水)	2025年2月15日 (土)



- JR山陽新幹線「新神戸」駅から神戸市営地下鉄西神・山手線「新神戸」駅に乗り換えて乗車27分
- JR「三ノ宮」駅、阪神「神戸三宮」駅、阪急「神戸三宮」駅から神戸市営地下鉄西神・山手線「三宮」駅に乗り換えて乗車24分
- JR「舞子」駅、山陽電車「舞子公園」駅から神戸市バス・山陽バス53系統・54系統「学園都市駅前」行きに乗り換えて乗車27分(道路事情により変わります。)



- 神戸市営地下鉄 西神・山手線「学園都市駅」下車徒歩10分

お問合せ先

兵庫県立大学大学院
 社会科学部経済学専攻

兵庫県立大学神戸商科キャンパス学務課 〒651-2197 神戸市西区学園西町8丁目2-1
 TEL.078-794-5209 E-mail:g3s@ofc.u-hyogo.ac.jp <https://www.u-hyogo.ac.jp/g3s/>